

今は、無き『石屋川トンネル』

明治維新で近代化を急いだ日本は、当時は技術の先端であった鉄道建設を急いだ、そのハシリの一つが大阪、神戸間の鉄道建設であって 明治 3 年には着工の運びとなっていました。

このときの技術的課題が、当時すでに天井川となっていた石屋川の越え方であった。そこで鉄道建設に指導的協力をしていたイギリスの技術者に依頼してこの川の下をくぐって鉄道を通すことになり、トンネルを掘ることになった。明治 7 年に完成し、大阪神戸間の鉄道が全通した。

そのとき出来上がったのが、『石屋川トンネル』である。

このトンネルは、『日本で最初の鉄道トンネル』となり、奇しくも『天井川トンネル』となったのである。

残念なことに、このトンネルは東海道線の複々線化と高架化と河川対策などの面から、石屋川が改修され、トンネルは解消した。

なお、この指導を受けた技術を活用して 3 年後には、逢坂山トンネルに着工し、明治 14 年に『国産第一号の逢坂山トンネル』を完成させたのである。明治維新当時の日本人の気迫を感じる出来事です。

『石屋川トンネル』は残っていれば、日本の産業遺産に登録されたであろうと思われませんが、今は。改修された石屋川の公園に記念碑だけが残されています。

